

閑話
休題

小諸を巡る虚子と風生

小山 清吾（副会長 与良出身）

○序

太平洋戦争の戦局が我が国に不利になり、昭和十九年七月サイパン島が玉砕陥落し、日本内地の各都市に對する米軍による空襲が激しくなってきた昭和十九年九月四日、虚子先生ご一家が小諸小山家に疎開されてこられました。

母屋に続いて三、四棟ある土蔵の間の石垣の坂をのぼり、小路一つ隔てた一段高い所に板塀に囲まれている「隠居家」と云っていた家に住まわれることになりました。門を入ったすぐ右手の庭石の傍らには大株の紫苑が今を盛りと咲いていました。

先生が来られて間もなく何らかの話の序に父が「私の家は富安風生さんと非常に近い姻戚関係にある。」と申し上げた所大変驚かれました。

○師弟の絆

風生さん（富安謙次氏）

は豊橋市郊外の旧家のお生まれで、明治二十四年村の小学校に入学しましたが、その校長先生が二十歳も年上のお兄さんの鷹次氏でした。中学（現時習館高校）を首席で卒業し一高に入学

しましたが、同期には安部能成、市川三喜、鶴見祐輔などがあり、三十九年東大に入学、四十三年に高文をパスし、元の通信省に奉職しましたが暫くして結核に罹り長期の療養を余儀なくされ休職、大正五年頃復職して福岡の勤務になりました。大正八年福岡にいられた虚子先生とはじめて接した「ホトトギス」に投句をはじめ、次第に頭角を現わし終生変わらない師弟の礼を尽くしたと云われております。先生も富安風生と高野素十の二人は花鳥諷詠の志を継いだ高弟として遇した

ことはご存知の通りです。

嫂や炬燵に遠く子を膝に一弁のはらりと解けし辛夷かな

風生

昭和三十四年四月八日、八十五歳で永眠された虚子先生の告別式には、風生と山口青郎が葬儀副委員長を勤めております。

○姪す寿さんの輿入れ

私の祖父は男六人女五人の長兄であり、末弟は父と殆ど同じ年齢でした。その末弟即ち父の叔父は、上田

さんが見染めたというのが事の発端です。

叔父は軍務の合間に、す寿さんと会っていたようでありました。（大正五年頃と推定されます。）ご両親は勿論親族の方々数名と共に叔父さんに当る謙次氏も、遠く離れた小諸まで足を運

ばれました。私の母の言葉を借りれば「す寿さんは目のすつきりした大変な美人であった」そうで、当時を知る人は「本当に美男、美女を画に描いたような夫婦であった」と云っておりました。

結婚後二人の子供に恵まれ誠に幸せな家庭を営んでおりましたが、大正九年八月長男が三歳で早逝しその上す寿さんが突然咯血、重度の結核と診断されました。当時は結核には特效薬はなく安静にして栄養のあ

るものを喰べる位しか療法がなかったため、美人薄命のこわさのようになり大正十一年五月、二十五才の若さでこの世を去りました。

不幸は更に重なり長女に感染大正十三年六月相次いで幼ない命を奪われてしまいました。不幸の連続で叔父は軍務を退きましたが翌十四年十一月に三十七才で失意のうちに亡くなりました。

先生の住居から五百米位い浅間山に向って登った広いりんご畠の中の四軒長屋に、先生のお子様が入れ替りに住まわれ、不自由な疎開生活を送られましたが、そのりんご畠の南の隅に小山家の墓所があります。

枝ぶりの良い二本の大きな松の木に囲まれ七代前からの歴代の墓が並んでいるが、その左手前に親子五人の戒名を刻んだ墓石の下に埋葬され、以来益、彼岸な

埋

どに手厚い供養がされてい
ました。墓石の裏には「大
正十一年五月二十六日 す
寿 二十五才 豊橋市富安
鷹次二女」と刻されており
ます。

○風生筆の屏風

以来父は風生さんと付き
合を深めました。小諸の旧
家や大店では、お盆の間だ
け畳一枚程の大きさの組立
式の仏壇（上段に歴代の位
牌を並べ下段に供え物を供
える。）を作つて供養する
習慣があります。その上段
後方に立て廻す六曲半双の
屏風を書いて頂いておりま
す。又池袋の立教大学の近
くに昭和の始めに建てられ
た風生さんの家には学生時
代父と共に数回お尋ねした
記憶があります。

父が富安家との関係を先
生にお話してから先生もり
んご島の中の四軒長屋にお
子様方が居られたこともあ

り、又例の「好きな徑」の
すぐ脇にある小山家の墓地
に時々立ち寄られて居りま
す。

盆供養彼岸詣も怠らず

虚子

昭和二十二年六月風生さ
んが小諸の虚子先生を訪れ
た際同席した父共々富安家
と小山家の縁の深いこと、
又若くして逝くなつた姪の
ことなど話題になり、お二
人共小諸で相まみえる奇遇
に驚かれたと聞いておりま
す。

師の浅間梅雨晴間得て見
に出ずる 風生
いやまさきく梅雨ごもり
しておはしけり 風生

六曲半双の屏風は左端に

「為小山氏 作之富安風生」

と為書きがあり右から次の
五句が特徴ある細い文字で

記されています。

小諸とは雨の涼しき坂の
町

にぎやかに門火を焚ける

淋しさよ

供えたる青き林檎の滯

る、帯

姪どもがはせさきだてる

墓参かな

家のうちあはれあらはに

盆燈籠

書かれた句の内容からし
て、ご自分が若い頃美しい
姪を連れ、豊橋から長時間
の旅をして小諸に輿入れさ
せた悲運のす寿さんの供養
と、その墓を建て永年守つ
てきた父に対する感謝の気
持ちから書かれたものであ
るうと思えます。

※参考文献

富安風生の世界

清崎敏郎編（梅里書房）

生きる日々は、生き甲斐を尽して

今年先の大戦に敗れて65年の節目を迎え、追憶やら反省の語りがマスコミに取り上げられています。私も多くを語ったことはありませんが、昭和19年8月第15期甲種飛行予科練習生として土浦航空隊に入隊、翌20年9月除隊。軍歴一年でしたが、延引すれば地獄をみたかも知れないし、嫌な悲しい思い出を語ることもせず天逝したかも知れません。

作家・池宮彰一郎氏の「最後の忠臣蔵」の一篇に「仕舞始」と題し、幻の四十七士・寺坂吉右衛門を題材にした時代小説があります。大石家老の巖命で、討ち入りの生き証人として、又義士の遺族の連絡係りとして「生きよ、おまえはひとりで生きるのだ」との宿命に従い、討ち入り後「正に死から生への転回」の懊悩と苦難の生き様を曝す中で、偶々鎌倉八幡宮の舞殿で正月に演ぜられる謡曲「仕舞始」の一節「人は生き、やがて死ぬ。生きる日々は甲斐ある生を送れ。死するは生き甲斐を尽くして死ぬ。それが侍の道、侍の志である」に感得し、漸く「自ら生きる」ことを求め生き甲斐ある人生の旅を始めたとある。

私も八十路の嶮路を辿る毎日ですが、折角生かされている以上、「甲斐ある人生を送り生き甲斐を尽さなければ」と願っています。果たして？

木下幸彦（荒町出身）

大正十五年七月二十八日、星野温泉若主人の為に草す

成功の秘訣

六十六翁 内村鑑三

- 一、自己に頼るべし、他人に頼るべからず。
- 一、本を固うすべし、然らば事業は自づから発展すべし。
- 一、急ぐべからず、自働車の如きも成るべく徐行すべし。
- 一、成功本位の米國主義に倣ふべからず。誠実本位の日本主義に則るべし。
- 一、濫費は罪惡なりと知るべし。
- 一、能く天の命に聽いて行ふべし。自から己が運命を作らんと欲くすべからず。
- 一、雇人は兄弟と思ふべし。客人は家族として扱ふべし。
- 一、誠実に由りて得たる信用は最大の財産なりと知るべし。
- 一、清潔、整頓、堅実を主とすべし。
- 一、人もし全世界を得るとも其靈魂を失はば何の益あらんや。人生の目的は金錢を得るに非ず。品性を完成するにあり。

この文章は84年前、内村鑑三が星野温泉の若主人星野嘉助氏（当時21才）に書き渡したものである。

日本は今、他人や借金に頼りすぎた結果、政治や経済、人の心もガタガタ。また世界は今、地球温暖化や資源の枯渇の大問題が進行中。

日本は、内村鑑三の思想をもっと広げながら「世界一の省エネ国」として生きる道を探せないだろうか。（二〇一〇年八月）

コミー株式会社社長
東京小諸会常務理事

小宮山 栄

ご意見などは
FAX 048-250-5318

本の紹介

「かかあ天下が駆け抜けた」

青木 淳 著

文芸社 一四七〇円

戦後間もない小諸と上田を舞台に、五人の子供を抱えた豪放磊落な母親が、物のない乏しい時代を涙と笑いで、力強く生き抜いた感動の物語。著者は家族の一員で、小諸の野岸小学校に四年生までで入学した。

食べ物無くても笑いの絶えなかった家族の実体験物語でもある。（Y・K）



ご存知ですか

バスで東京から小諸へ

明治二十六年の信越線開通以来、東京と小諸の間の交通は、長い間鉄道車輛に頼って来ました。近時、高速道路の普及により、車による交通が盛んとなり、東京小諸間も高速バスが便利に運行しています。

ご存知ない方が多い様なので、バス会社と運賃や所要時間を簡単にご紹介し、ご参考に供します。（S・T）

「千曲バス」

所要時間 約三時間（池袋・小諸間）
片道運賃 3000円
乗降場所 立川駅と池袋駅
小諸駅と厚生病院

「JR高速バス」

所要時間 約三時間（新宿・小諸間）
片道運賃 2500円
乗降場所 新宿駅と練馬区役所
小諸駅と厚生病院

尚、発車時間など詳細は、次の案内所
でお確かめください。

千曲バス	0267-62-0010
	03-5910-2525
JRバス	0267-26-0030
	03-3844-1950

合言葉は「あなたのそば」

小諸市内のそば店や宿泊業者でつくる「信州でもそば振興会」(25店・業者)は本年度、「あなたのそばがよい」を合言葉にさまざまな事業に取り組み、そば殻を詰めたる人用の「あなたのそば枕」の販売を始め、「小諸のそばの日」制定や関東地方からの誘客などを計画。秋にはソバ畑で大切な人へのメッセージを叫ぶイベントも開く。

小諸 そば振興会 本年度多彩な事業

2人用枕販売、絶叫イベント…



PR用の垂れ幕の前で2人用そば枕を抱える
依田会長(右)とそば枕を作った佐藤さん

同会は昨年9月、江戸時代の盆踊り歌の歌詞にある「信州信濃の新そばはよい」をわたくしあなたのそばがよい」をテーマに、愛する人への思いを絶叫するイベントを市内のソバ畑で初開催。約100人が訪れるなど手応えを得たことから、小諸をそばに絡めた「縁結びの町」としてPR

にPRすることを決めた。事業の第一弾となる枕は長さ90センチ、幅25センチ。同市本町のそば店のおかみ佐藤サカエさんが手作りした。佐藤さんは「そば枕は涼しくて健康的。年配の人でも若者もそれぞれの思いで肩を並べて眠ってもらえればうれしい」と話す。手

誘客に力「縁結びの町」もPR

始めに50個作り、信州でもそば振興会加盟店で1個3150円で販売する。

7月から毎月1日を「小諸のそばの日」と決め、加盟店が看板を出してアピール。来店者には今年も9月4日に予定する絶叫イベント(入場料千円のチケットに使える)あなたのそばがよい」と書かれたしおりを配る。

このほか、小諸陸軍高校(小諸市)の生徒から、テアをもらって「縁結びの町」の開催などを進め、10月から会員店での提供を目指す。関東地方では「小諸そば」を掲げるチェーン店の約90店舗で振興会のポスターを張ってもらい誘客を図る。依田昌平会長(63)は「観光客の皆さんにすてきな小諸の思い出をつくってもらえるよう、もてなしていきたい」と意気込んでいる。

信濃毎日新聞
2010年(平成22年)6月5日

替え歌で交通事故をなくしましょう

交通安全の歌

作詞 白鳥ひさじ

- 一、一つ 一人の外出は 危険がいっぱい
気をつけて 右見てみてみて 左みて
そーれ それそれ 安全に
- 二、二つ 二人で歩く時 話夢中に
気をつけて 右見てみてみて 左みて
そーれ それそれ 安全に
- 三、三つ 三人歩く時 道路いっぱい
ひろがらず 後ろみてみて 横見て
そーれ それそれ 安全に
- 四、四つ 夜更けの外出は 危険がいっぱい
気をつけて 右見てみてみて 左みて
灯り足もと 安全に
- 五、五つ いつもの自転車は 危険がいっぱい
気をつけて 右見てみてみて 左みて
そーれ それそれ 安全に
- 六、六つ 無理した横断は 危険がいっぱい
気をつけて 右見てみてみて 左みて
そーれ それそれ 安全に

作詞した白鳥ひさじさんは、東京小諸会の常務理事をされており、千葉県松戸市で介護活動など広く活躍されています。昨年地元元の松戸警察から、高齢者の交通事故が多発するので、事故防止に役立つ歌を作って欲しいと依頼され、白鳥さんは、これも大切な見守りのひとつと思い、作詞されたという。

「松の木小唄」の替え歌で歌ってみたら大好評。今では踊りも振りつけられ千葉県はおろか県外にも広まりつつあるという。

(Y・K)

明治学院小諸音楽祭

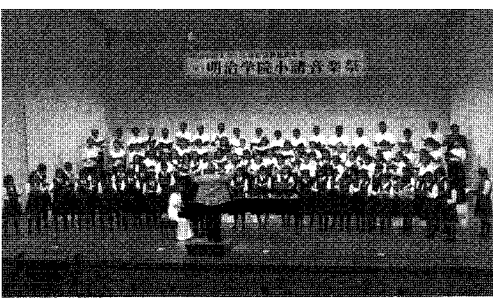
8月22日、島崎藤村の命日に合せ、「明治学院小諸音楽祭」が小諸市文化センターで開催されました。明治学院大学と小諸市は、島崎藤村の縁を通じて協働連携事業を進めており、当音楽祭はその一環として行ったものです。

明治学院からは、二本榎マンドリン合奏団や明治学院バツハ・アカデミー合唱団が出演。小諸市からは、小諸東中学校、芦原中学校、小諸高等学校音楽部が出演しました。プログラムの最後には、会場全体で「信濃の国」等の大合唱を行いました。と「広報こもろ」の十月号に掲載されました。

小諸市と明治学院とはこの他にも幾つか催しごとがあり、今年の十一月十九日(金)には、例年行われますクリスマスツリー点灯式が、港区白金台の明治学院で午後4時30分から開催されます。

小諸からは千曲小学校の六年生が上京して合唱を聞かせてくれるそうです。

東京小諸会の皆さんも参加されていますか。



明治学院小諸音楽祭